

議会だより

No.214

編集：議会広報特別委員会

令和4年度予算審査特別委員会の報告

同委員会は、3月8日・9日・10日の3日間、細川町長の施政方針として地域経済や産業振興の状況を史料し、子育て支援、地域医療、介護の確保、教育環境整備など将来の経済負担も考慮しながら、コロナ対策やゼロカーボン、SDGsにも思索しながら、幌加内町第7次総合振興計画が確実に実行できるよう一般会計41億4325万9000円、特別会計を含めた総額47億2944万8000円を予算編成された新年度予算について慎重に審議を行った結果、原案の通り可決しました。

一般会計

総務費

中南議員 森林環境譲与税について、本町ではどのような目的の時に使用する考えなのか。

副町長 森林環境譲与税は、基本的には民間、民有林に使用する事になっている。

本町で所有している町有林の財産については使用することができない。民間が整備をする事業に対して使用するのが国の目的となっている。

実際、今すぐ民有林での事業があれば補填などを行えるが民間の方ですぐ使用するのが具体的にないことから、将

来に向けて積立てをしていく形としていく。

衛生費

中南議員 そば殻と汚泥で堆肥を生産するようになるが、作った堆肥は以前のように町民に売ようになるのか。

今後どのような計画をしているのか。

住民課長 今年度についても、パーク堆肥がないことから販売はしていないと産業課より聞いているが、汚泥とそば殻は出るので堆肥の生産は続けていく。一方、堆肥は増えていくので生ごみ同様に希望のある町民について無償で渡したいと考えている。

運用の面もあることから今後

の販売や商品化など、別途考えたい。

中川議員 汚泥堆肥施設費の処分場・パーク作業委託料について、パーク堆肥自体はまだ在庫があるのか。

また、どこに委託をするのか。

住民課長 パーク堆肥については2〜3年前から製造をしていて、現在は在庫がないと把握をしている。今後、住民に渡す物については汚泥等で作ったパーク堆肥となっている。

委託先については、従来の町内業者にパークの管理・生産も含めて処分場の業務も一部担ってほしいと考えている。

中川議員 新しく作る汚泥堆肥について、原材料の汚泥は農業集

落排水の汚泥で、そば殻についてはどこから調達をしているのか。

また、今年度はどのくらいの生産量となるのか。

住民課長 汚泥については、農業集落排水施設から出た汚泥を定期的に入れていく。そば殻については、町内の製粉業者から定期的に出た分を持ち込み、これらを混ぜて生産をしていく。

量については、安定はしていないが年間約150トン程度と聞いている。3年くらい前から作っている中で、今まで町民に配布をしていたパークぐらいいの量であれば1年分ぐらいいはあると考えている。

副町長 今までの経緯について、パークを使って堆肥として品種登録をしていたが、今回、パークもなかなか手に入らない状況のためそば殻に変更した。そば殻を使う事により、堆肥の成分分析や登録をまた新たに行う予定となっている。

使用するところは、現在のところ汚泥とそば殻がどのような効果があるのかを含めて、新年度は、技術センターの試験圃場で使ってみて経過や様子を見ていき、その後、効果があれば町民向けにと考えている。

△教育費▽

たいと考えている。

て抑えられている。

中川議員 給食費の関係について、小学校、中学校ともに今年も値上げはしないとの説明があった。最近の食材費の状況を見ると特に小麦製品や油製品などが相当値上がりしている。

今までのルールとしては材料費については給食費で負担してもらう。光熱費や厨房費は町側で負担してもらう。据え置きのは大変良いと思うが、昨今の事情も考慮しての食材費の予算計上なのか。

教育次長 食材費等値上がりしているのが現状だが、現在、学校給食に関してはある程度、冷凍食品などを大量に購入し、それを何回かにわけてローテーションを組みながら献立をたてていることから、今のところ材料費については低く抑えられている状況である。

学校給食の運営委員会等についても、ここ何年かはコロナの影響で開催されていないが、委員会の中でも改めてこのような状況であることを説明して保護者等の意見がそろえば今後値上げをしていくのも良いかと考えているが、現在は工夫等によっ

中南議員 小学校、中学校、高等学校、寄宿舎等の備品購入について、学校や寄宿舎から要望が上がってきたものを予算計上しているとの説明であったが、本当に必要な物なのか。
教育委員会サイドでは審査をしているのか。

教育次長 各学校からの要望については、教育委員会で内容を確認して取捨をしたり、また内容によっては来年度以降にする

稲見議員 幌加内高等学校の温室について、年中稼働していると思われるが、高校の授業で冬の温室等どのように使用しているのか。

教育次長 幌加内高等学校の温室の使用について、温室自体は3つのブロックに分かれている。成育温室、水耕温室、教材用の温室があり、それぞれ温度が違う部屋を用意している。花や野菜の育苗、栽培等を季節ごとにローテーションを組んで移動している。冬期間は寒さに強い花を温度の低いところからスタートして、少しずつずらして環境に慣らせていく。

幌加内高等学校の温室については、六次産業化の中の生産の一つの大きな施設とされていることから、教育委員会としても修繕等を行っていき進めていき

稲見議員 生涯学習センター費の特別修繕料については、吊り下げ物の改修に高額な金額がかかるとの説明であったが具体的にどういったところを改修するのか。

教育次長 具体的にはステージ上に幕があるが、その辺の幕やスポットライトを吊るしているものや手で下ろしているものなどについて改修をしてワイヤー等を交換し強度を高める。または安全性を高める工事を行う。



中南議員 町民プール管理業務委託料について、昨年度より100万円以上上がっているが1年でこれだけ上がる理由は何か。

教育次長 町民プール管理業務委託料については、去年まで幌加内町民プールを管理委託料としていた。今年度は朱鞠内のプールについても管理委託を組

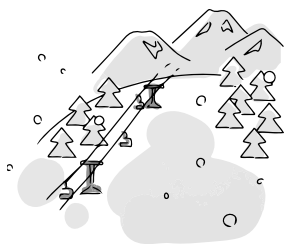
みたいと考えている事から、その分の予算を計上している。



藤井議員 特別修繕料について、スキー場の圧雪車をオーバーホールするとの説明があったが、今年は結構壊れたとの情報もあるが、更新する考えはないのか。

社会教育主幹 圧雪車については、去年油圧ポンプが突如動かなくなり交換をしている。

圧雪車については修理費も結構かかっていることから今ローリングに上げている状況であり、令和5年か6年には更新をしていきたいと考えている。



特別会計

△奨学資金特別会計▽

中川議員 貸付限度額について、高校、大学、専門学校とあるが現状それぞれ幾らとなっているのか。

また、いつからこのままなのか。

教育次長 金額については、大学、専門学校は年間36万円、医科大学は144万円、高校は年間18万円、幌加内高校生は12万円となっている。

いつからこのままなのかの質問については、今資料がないため回答できない。

中川議員 大学の授業料にしても生活費にしてもかなり上がってきている。

特に最近ではコロナの関係で学生もアルバイト類がないため、親の仕送りや奨学資金が本来に生活の糧となってくる。そのような状況を考えると、もう少し貸付けの限度額を上げることも検討をすべきと考えるが今回の予算計上については検討の経緯はあったのか。

教育次長 現在この限度額の引き上げ等については、検討をしていないのが事実である。

今後、奨学資金運営委員会等がある中で、このような意見があった旨を説明し検討材料にしたい。



● 議会事務局からのお願い ●

議長宛の文書や案内状は、議長公務の日程を調整する必要がありますので、直接議会事務局へ送付願います。

(送付先) 〒074-0492 北海道雨竜郡幌加内町字幌加内 4699 番地
幌加内町議会事務局宛